

<事業名>たじまむしむし観察隊

団体名	ジオ sen.s (センテンス) 但馬因幡探究クラブ
所在地	兵庫県美方郡新温泉町
代表者名	福原公一郎

事業内容	<p>当団体は、新温泉町にある豊かな自然を活用した体験イベントを企画し、新温泉町やその近隣市町の親子が自然に親しみ、自然に対する興味関心を育む機会を提供しようと活動をしている。今回は、テーマを「むしむし観察隊」に絞り、年間同じテーマで取り組むことで、このテーマに興味を持つ子どもの継続的な参加を促した。6/13「クモの糸大研究」、6/27「ヒゲナガガ散歩」、7/24「ライトトラップ」、8/21「ヤドカリ大実験」、8/28「ミツバチのお仕事見学」、9/18「水生昆虫観察会」、10/3「バッタ釣り」、12/11「丑年にホルスタインを探せ!」、2/12「枯葉の下の虫を探そう!」2/26「蟲蟲フェス」を行った。</p>
地域	但馬全域、鳥取東部
事業の効果	<p>1 団体(組織)内の効果 今回は虫に限定したことで、かなり強力なりピーターの獲得に繋がった。また、今回は鳥取(新温泉町は生活圏、文化圏としても鳥取との繋がりは深い)の学生達と共に観察イベントを企画、運営したので、次世代の育成にもつながることを期待している。講師の大生氏だけでなく、毎回鳥取大学、環境大学などから、様々な研究をしている学生と繋がり、今後の団体の企画イベントにも活かすことができるだろうと思う。</p> <p>2 地域への効果 今回は募集範囲を養父にまで広げたことで、さらに但馬地域に自然体験の楽しみをアピールできたことだろう。但馬地域、鳥取地域からも定期的に新温泉町に自然体験に来てくれる方々が増え、「あそこのレストランでランチするのが定番なんです。」「帰りに海産物買って帰ります。」と、今まで知られていなかった地域の魅力を発見してもらえたのではないだろうか。</p>
事業経過	<p>3年5月1日 「チラシ作成会議」</p> <p>3年6月13日 「クモの糸大研究」 隊長大生唯統氏(鳥取大学修士1年)、副隊長前田純花氏(鳥取環境大学2年)とともに、白馬公園にてクモの観察会を行った。</p> <p>3年6月27日 「ヒゲナガガ散歩」 隊長大生唯統氏(鳥取大学修士1年)、副隊長大水孝介氏(鳥取大学4年)とともに、氷ノ山にてクモのヒゲナガガの観察会を行った。</p> <p>3年7月10日 「シロスジコガネ散歩」 大雨の為中止</p> <p>3年7月24日 「ライトトラップ」 隊長大生唯統氏(鳥取大学修士1年)、副隊長市原晨太郎氏(鳥取環境大学3年)とともに、牧場公園にてライトトラップ観察会を行った。</p> <p>3年8月7日 「夜の虫散歩」 雷雨の為中止</p> <p>3年8月21日 「ヤドカリ大実験」 隊長大生唯統氏(鳥取大学修士1年)、副隊長早川哲朗氏(鳥取環境大学)とともに、山陰海岸ジオパーク館にてヤドカリの観察、実験を行った。</p> <p>3年8月28日 「ミツバチのお仕事見学」 隊長大生唯統氏(鳥取大学修士1年)、副隊長早川哲朗氏(鳥取環境大学)とともに、新温泉町で養蜂を営む岸本康則氏のお話を聞き、蜂蜜しぼり体験を行った。</p> <p>3年9月18日 「水生昆虫観察会」 隊長大生唯統氏(鳥取大学修士1年)、副隊長川北修也氏(鳥取環境大学修士1年)とともに、トンボの里公園にて水生昆虫の観察を行った。</p> <p>3年10月3日 「バッタ釣り」 隊長大生唯統氏(鳥取大学修士1年)、副隊長加藤敦司氏(鳥取大学)とともに、味原川にてバッタの観察を行った。</p>

	3年10月17日 3年12月11日 4年2月12日 4年2月26日	<p>「生き物のしわざを探そう！」大雨のため中止</p> <p>「丑年にホルスタインを探せ！」          隊長大生唯統氏(鳥取大学修士1年)、副隊長市原晨太郎氏(鳥取環境大学3年)とともに、城山公園にて蛾の観察会を行った。</p> <p>「枯葉の下の虫を探そう！」          隊長大生唯統氏(鳥取大学修士1年)、副隊長小宮春平氏(鳥取県地域教育推進局)とともに、おうちだに公園にて冬の昆虫観察会を行った。</p> <p>「蟲蟲フェス」          大生唯統氏(鳥取大学修士1年 昆虫)、市原晨太郎氏(鳥取環境大学3年 鳥)、笈川慶司氏(鳥取環境大学3年 哺乳類の交通事故)の研究内容を以命亭にてワークショップやゲームを交えて紹介した。</p>
協働相手	鳥取大学 大生唯統氏 岸本養蜂場 岸本康則	
今後の課題等	<p>〈事業を実施する上での課題〉</p> <p>1. 団体(組織)の課題          企画立案者に偏りがあるため、今後継続していくためには企画立案ができる人材を育成していく必要がある。</p> <p>2. 地域の課題          長年環境教育を行なっている豊岡市は、自然に関心の高い方が多い。一方、同じように自然に恵まれていても、香美町や新温泉町では自然に関心が高い家庭は少ない。これらは教育によって豊岡市のように高めることができると思うので、今後も継続的に自然体験活動を企画し、参加する機会を増やしていくことで、地域の自然環境に目を向ける人を育てていきたい。</p> <p>〈令和4年度以降の事業計画〉          より活動の幅を広げ、多様性の時代を生き抜く次世代の育成のため新団体を設立した。来年度以降は、自然体験、哲学、多文化理解など様々なアプローチから、多様性を学ぶ子供向けプログラムを企画していきたい。</p>	



令和3年7月24日 ライトトラップ



令和3年8月28日 ミツバチのお仕事見学



令和3年9月18日 水生昆虫観察会



令和3年10月3日 バッタ釣り